

第2次北名古屋市総合計画策定に関する団体ヒアリング結果まとめ

平成28年10月
北名古屋市

1 開催目的

第2次北名古屋市総合計画の策定にあたり、様々な分野において活躍されている団体の皆様にお集まりいただき、活動を進めている上での課題や今後重点的に取り組むことなどをお伺いするグループヒアリングを実施しました。

2 開催概要

分野	実施日(平成28年)	団体名(五十音順)
健康・福祉	10月7日(金)	北名古屋市健康づくり推進員、北名古屋市食生活改善推進協議会、北名古屋市ラジオ体操連盟、笑楽クラブ
	10月7日(金)	NPO 法人在宅福祉の会じゃがいも、北名古屋市社会福祉協議会、北名古屋市心身障害者福祉協会、北名古屋市知的障害者育成会、北名古屋市民生委員児童委員協議会
	10月24日(月)	北名古屋市シルバー人材センター、北名古屋市老人クラブ連合会
子育て	10月11日(火)	NPO 法人アット・ユア・ホームひよっこ、NPO 法人子育てネットワークあすなろ、NPO 法人次世代健全育成サポートあひるっこ、NPO 法人ゆめ・ひと・みらいづくりサポーターズひまわり、託児グループ「めばえ」
安全・安心	10月17日(月)	北名古屋市交通安全協会、北名古屋市消防団、北名古屋市防犯協会、地域's
環境	10月17日(月)	生活環境美化スタッフ、フラワー同好会、若葉会
産業	10月17日(月)	一般社団法人北名古屋青年会議所、北名古屋市商工会、北名古屋市農業委員会、西春日井農業協同組合、西春駅前商店街協同組合
教育・文化・スポーツ	10月20日(木)	五条小学校運営協議会、天神中学校運営協議会、NPO 法人フィール・ザ・ワールド、NPO 法人ボランティアチャー
	10月20日(木)	北名古屋市女性の会、北名古屋市文化協会
	10月24日(月)	北名古屋市体育協会、北名古屋ふれあいスポーツクラブ、北名古屋市レクリエーション協会
まちづくり	10月20日(木)	熊之庄協働クラブ、さんか・クラブ

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北名古屋市健康づくり推進員 ○北名古屋市食生活改善推進協議会 ○北名古屋市ラジオ体操連盟 ○笑楽クラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ○車を運転できる人でないと活動がしづらく、ボランティアメンバーが高齢化し、所属メンバーが減少している。 ○推進委員は増えているが、個人がどのような活動をしていきたいか特定するまでに至っていない。 ○互いに垣根・組織を超えて活動していきたいが、ボランティアメンバーは掛け持ちで行っている人が多いので、人員不足となっている。 ○65歳以上の女性は「無償ボランティア」にはあまり参加しない。 ○専業主婦が減少し、ボランティアも有償という意識が広まり、退職後は趣味の活動を優先される方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代が検診を気軽に受けられるような機会を作る。 ○ラジオ体操の開催地域を倍程度にし、新たに参加できる会場を増やすことで、参加者同士のつながりを高める。 ○リーダーの養成が課題のため、全国ラジオ体操連盟の講習に参加してもらい、その受講者によって様々な場所で活動を広げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康ドームを有料で借りて、ヨガを自主グループで立ち上げても、場所を市が押さえている場合があって活動できないことがある。利用料金が自主グループでは必要となることよりも、使える場所がないことが困る。 ○民家ではなく、市が所有している施設、社会福祉協議会が使っている場所などの中で、空き家になっているところを解放できないか。 ○市内にグランドゴルフなどが出来る施設がないため、整備して欲しい。 ○校区によって地域活動の規模が異なるため、地域運動会などの取組は統一してどの地域でも行われるようにして欲しい。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>福祉1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○NPO 法人在宅福祉の会じゃがいも ○北名古屋市社会福祉協議会 ○北名古屋市心身障害者福祉協会 ○北名古屋市知的障害者育成会 ○北名古屋市民生委員児童委員協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方とのコミュニケーションづくりの拡充。 ○個人情報保護の意識により、個人情報の把握と特定の個人に向けての発信が難しい。 ○災害時に災害弱者の犠牲者を出さないための取組として、災害マップの作成と要介護者の把握があげられるが、要介護者がどの地域に住んでいるのかが分からない。 ○親亡き後の障害者が安心して生活していけるように、コンサート、講演会などの支援活動を行い、一般市民への周知活動を実施している。 ○要介護者が増加しており認知症対策が必要であるが、若年性認知症の方は、高齢者と一緒に過ごすことが難しい。 ○孤立、一人暮らしの問題があり、家族介護が受けられず、ニート、引きこもり、家庭内暴力の問題も増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢障害者、一般乳幼児、出産時のヘルパー派遣などの支援を2000年の介護保険開始時から活動している。市民協働の補助事業を活用して、一般者と知的障害者との関わりを持つための料理教室やサロンなどを開いている。 ○妊婦、要介護者、高齢者に冷たい地域（社会）になっているように感じられ、手を取って一緒に歩く仕組みづくりの考え方が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日曜・祝日もきたバスを稼働させて欲しい。 ○北名古屋市に医師が少ないため、在宅医療と介護の充実やホームドクターの普及が必要ではないか。 ○地域の中で障害者が就労できる場づくりが必要。学校教育においても保育園までは一緒だが、小学校1年生から特別支援学校に分かれるため、音楽など一緒に受けることのできる授業の普及が必要。 ○要支援高齢者が介護保険から外れていく方向で検討されているが、地域で支える体制・仕組みが必要。 ○特別支援学校から帰ってきた後の行く場所がないため、地域の子どもたちと一緒に活動できる場所が必要。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>福祉2</p> <p>○北名古屋市シルバー人材センター</p> <p>○北名古屋市老人クラブ連合会</p>	<p>○75歳以下の老人クラブ加入者は10%以下と少なく、70歳を超えてから加入しても地域活動などに積極的に活動できない方も多いため、なるべく早い段階で加入を促進したい。</p> <p>○講習などの活動に参加される方は同じメンバーの方が多く、独居老人の方への声掛けや参加促進が進んでいないことが課題である。</p>	<p>○シルバー人材センターの派遣では30分で500円のワンコインサービスを実施しているが、午前中のみの作業や、ローテーションを組んで実施できる業務などについては行政からの依頼を増やしたい。</p> <p>○市内の空き家調査などは必要度も高く、シルバー人材センターとしては是非仕事としてやっていきたい。</p>	<p>○市内にある高齢者支援センターが集いの場となれるよう、拠点の場所としての設備を充実させてほしい。</p>

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○NPO 法人アット・ユア・ホームひよッコ ○NPO 法人子育てネットワークあすなる ○NPO 法人次世代健全育成サポートあひるっこ ○NPO 法人ゆめ・ひと・みらいづくりサポーターズひまわり ○託児グループ「めばえ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○どこでどのような活動が行われているのか、誰でもアクセスすることができる情報が必要。 ○子育て情報誌を作成して、赤ちゃん訪問や親子体操教室の時に配布しているが、広報にも掲載される通年の情報であり、瞬時の情報を提供する仕組みが望ましい。 ○認可外の小規模保育所が廃業しつつあり、産前産後や病気の時の一時預かりができなくなることが心配であり、それをカバーしていく必要がある。また、短時間の保育ニーズが増えてきている。 ○幹線道路沿線、田園地帯など、市内でも地域性が異なるため、それぞれの地域に応じた活動が必要である。 ○活動の拠点やおもちゃなどの収納スペースがないこと、新しいメンバーが入らずに高齢化していることなどが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童館での運営は順調に進んでいるが、活動のアピールについては、その場でのPRのほかに、LINEの活動を拡大したい。 ○北名古屋市の子育て支援活動は層が厚く、保健センター、各小学校区の児童館、4か所の子育て支援センターなどの施設も豊富である。子どもの居場所が広がっており、今の活動を継続・充実していきたい。 ○働く世帯での子どもの孤食を防ぐような、子ども食堂のような活動も必要になる。 ○ワークショップが盛んになっており、常に開催することができる場所を確保したい。 ○若い世代と高齢者との交流を充実させ、お互いの活動に参加しやすくしたい。年3回程度、校区ふれあい会は開催されているが、自治会単位のカフェを活用するなど、地域の中での交流を進めたい。 ○母子手帳と一緒に父子手帳を作って配り、育児活動に参加する父親を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3歳未満児の受け入れについては、市としても課題であり、継続が必要。 ○きめ細かい子育て支援と、地域が連携した子育ての推進を進めていって欲しい。 ○市民活動推進課は全ての分野の団体の情報を提供しているが、掲示板で活動が分かるようにして、市民に情報発信することが望ましい。子育て団体の情報だけでなく、東地区と西地区の活動情報の共有をより進めて欲しい。 ○北名古屋市は、生活、買い物、子育て支援が充実しており、名古屋へ行くことも便利なまちとして市外に良さを広報していくべきではないか。 ○子ども達が思いっきり遊ぶことができる公園がない。児童館ではボール遊びが難しく、公園でも子どもの声がうるさいという苦情が出る。ヨシヅヤの横の整備中の公園はどうなっているのか。 ○名古屋市と合併したら子育て支援はどうなるのか。民間団体として雇用確保をしており、施策が変わると影響があるかもしれない。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北名古屋市交通安全協会 ○北名古屋市消防団 ○北名古屋市防犯協会 ○地域's 	<ul style="list-style-type: none"> ○団員が高齢化し、人員も減少しており、若い団員の参加が少なく、地域の繋がりが薄い。 ○北名古屋市や自分が住んでいる地域への愛着をどう育むか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯ボランティアの活動団体を育成し、夜回りや昼間パトロール活動を行い、不審者情報などを学校間で共有する。 ○防火パトロールを実施し、消防団の定員を増やし、女性の活動推進を行う。 ○児童館を拠点にした寺子屋活動や、子ども向けの防犯イベントや講座の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路や信号、交差点における事故について、発生後にしか対応できていないので、危険箇所については先に対応して欲しい。 ○信号の設置などは行政に提言しているが、費用の関係でなかなか対応してもらえない。 ○災害時の個人情報の共有と団体間の連携体制をどうとるか、市民少人数単位で話すことのできる機会が必要。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活環境美化スタッフ ○フラワー同好会 ○若葉会 	<ul style="list-style-type: none"> ○会員が高齢化していることもあり、花植えだけでなく、ごみ捨てなどの活動を今後も続けることができるのか。 ○メンバー個々の負担を少なくしつつ、継続できる仕組みづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○花壇の管理と会員が家の近くで花を植えている。 ○愛知県からの依頼で「アダプトプログラム」を実施している。 ○市役所の前の道路や公共施設前に花を植えており、6月と12月には環境課から苗を提供してもらい活動している。 ○補助金に頼らず、行政から仕事をもらい委託料で運営をしており、3Rの取組や模擬店での物販活動を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達に植物の大切さを伝える機会の拡大。 ○活動を広げていくために、メディアから取材を受けるための取組が必要。 ○昔ながらの生活の知恵を伝えるような取組を入れて欲しい。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般社団法人北名古屋青年会議所 ○北名古屋市商工会 ○北名古屋市農業委員会 ○西春日井農業協同組合 ○西春駅前商店街協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店を営む人の入れ替わりも少なく、商店街の店舗数が半減し、駐車場に変わってしまっている。 ○買い物をする際に、人が北名古屋市から名古屋市に流れてしまう。 ○農地の減少（都市化）と農作業を行う人の高齢化により、担い手の不足が進んでいる。 ○農地の保全のためには用水の修繕が必要だが、市街地にある地形のため莫大な資金が必要となり、整備を計画的に行っていくか不明確。 ○耕作放棄地については、農業をやりたいという人のマッチングが必要。 ○北名古屋市のテナント家賃は名古屋市とあまり変わらないため、新たに参入しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街でのイベントを名古屋芸術大学の学生と年に3回開催している。 ○地場産業の紹介と「食べマルシェ」への出店を実施し、北名古屋めしが3つ、北名古屋スイーツが1つ認定されている。 ○現状の生産体制に合わせた都市近郊型農業への移行と学童の授業の中で農業体験の実施。 ○「田んぼアート」における稲刈りなど、子ども向けイベントの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模店舗はあるが、小規模店舗が少ないため、中小企業に対して支援をして欲しい。 ○中小企業について、事業計画や経営計画に対しての伴走型支援を実施して欲しい。 ○農地の保全と農業法人の支援。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○五条小学校運営協議会 ○天神中学校運営協議会 ○NPO 法人フィール・ザ・ワールド ○NPO 法人ボランティアチャー 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育は学校の課題であるが、英語教育は転換期を迎えているため、小中学校教諭に英語教育の重要性に対する認識を高めてもらう必要がある。 ○学校運営協議会の継続を図るためには、立ち上げる時にみんなが向いている方向を揃える必要がある。 ○ボランティア参加者が減少しており、その調整と募集の広報が課題。 ○児童クラブに参加している子どもは、学力に差がある。このため、低学年には学習支援を行って欲しいという要望もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何がいつ、どのように行われるのかという催しの情報について、プラットフォームになる情報源に載せていく。例えば、親子の参加機会を増やしたり、県のLINE情報のように発信して、情報共有を進める。 ○NPO と協議会の交流をヒントにして、他校の情報を共有することや、協議会が先生をサポートする活動を充実する。 ○子ども同士の上下の交流から何か一つでも頑張れることを見出すように、刺激を与える。 ○今後は地域密着を進めていき、災害時の支援を各地域で行い、協力と助け合い活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○親も子どもも、将来の夢の持ち方や、トータルな人間像のあり方について教育委員会、行政で共有する必要がある。 ○将来の夢を持つためには、例えば職場体験が行われているが、豊橋市で小中の交流のみならず中高の交流を行い、先生方も意識が変わったというように先生方の交流を進めてほしい。 ○OB・OG が中学校に来て話をする機会ができないであろうか。天神中学校では、部活で高校と練習試合を行っている。 ○学校運営協議会委員がコーディネーターとなって、地域の人材発掘を行っているが、小中が連携してコーディネーターを確保して、学区内で連携する必要がある。 ○人材バンクを学校の中でカリキュラムに合わせて活用するために、先生への情報提供を行う。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>文化</p> <p>○北名古屋市女性の会</p> <p>○北名古屋市文化協会</p>	<p>○文化祭のPRを行うとともに、文化協会は若い人が加入して活気ある団体にしたい。</p> <p>○文化協会、女性の会ともに、参加のきっかけづくりが課題であるが、最近では活動を行っても参加する人が固定化されている。</p> <p>○文化活動では、子どもの習字などが人気があるが、歌や大正琴は活動が衰退している。</p> <p>○以前は婦人会のみんなが加入してくれたが、今は他にいろいろな活動機会があるためスポットのみの参加となる。</p> <p>○材料費などの費用を確保することや、会員が高齢化しており各校を回る移動手段の確保が課題。</p> <p>○若い団体の発表機会の工夫や、文化協会に加入するメリットをPRする必要がある。</p>	<p>○文化祭においては、園児の参加機会を設けることを継続する。</p> <p>○若い団体と交流していくために、名古屋芸術大学や西春高校OBなどは実行委員会方式で音楽会を開催している。</p> <p>○今後は地域密着を進めていき、災害支援を各地域で行い、協力と助け合い活動をしていきたい。</p> <p>○各クラブは教えることについては会員にとってハードルを感じやすいので、体験活動などに協力する。</p> <p>○下校時間の前後において、文化協会では青パト2台で安全パトロールを週4回実施している。最近では認知症の人が徘徊するという問題もある。</p> <p>○介護保険を利用できない人など、福祉サービスの隙間にある方の支え合いを、地域において進めることができると良い。</p>	<p>○文化協会の活動予算が削られてきた。一部のクラブ同士で、リハーサル室の予約が競合しており、抽選制にするなどの工夫はないか。</p> <p>○女性の会は市の会議等への依頼が多いため、他の団体も参加するようしてほしい。</p> <p>○サロン活動が市内29箇所で行われているが、集会施設などを活用し、もっと身近に活動することができるが良い。</p> <p>○パトロールには限界があるため、防犯カメラの設置を順次進めてほしい。</p>

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北名古屋市体育協会 ○北名古屋市ふれあいスポーツクラブ ○北名古屋市レクリエーション協会 	<ul style="list-style-type: none"> ○レクリエーション講座への参加者が減少している。特に40歳以下の若い人がいない。 ○他のイベントと重なった際に対応ができない。レクリエーションなどの活動においても事前に指導が必要となるため、人前に出すために人員を育成する時間も必要となる。 ○活動における費用は受益者が負担しているが、新たな層へのPR活動を行う場合、知名度の高い講師を呼ぼうとすると費用がネックとなる。 ○土日に施設の利用が集中するため、活動場所が取れないことがある。また、団体スポーツは青年層の参加減少からチーム数が減っているのが現状。 ○学校イベントなどでは、教えることのできるボランティア人材を確保し、派遣するスケジュールを組むことがなかなか難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会への声掛け活動は行っているが、これまでは男性の参加が少なく、「健康都市」として掲げているので、活動を継続するきっかけ作りが重要であると考えている。回覧板だけでなく、時代にあった地域へのPR活動が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北名古屋市で子ども達からお年寄りまで全体が盛り上がる祭りを開催し、大人になっても地域に愛着を持つ心を養ってほしい。 ○中学校の部活動などで外部講師として指導したい人がいるが、部活動中に生徒が怪我をすることなどの観点から、積極的に取り入れていない学校も多い。「講師費」として国や県に必要経費を援助してもらい、制度の充実を図ってほしい。

団体名	活動を進める上での課題	今後重点的に取り組むこと	施策に対する要望
<p>まちづくり</p> <p>○熊之庄協働クラブ</p> <p>○さんか・クラブ</p>	<p>○子どもが使う公園を美しくする運動を広げたい。熊之庄、六ツ師、片場でカフェを開催しており、広げていきたい。</p> <p>○メンバーに他のグループの活動と掛け持ちの人が多く、また行政からの頼み事が多い。何に力を入れていくのか、活動を絞ることが課題である。</p> <p>○市が補助してくれる活動を行うことは、認めてもらうことであり、活動のきっかけになる。若い世代は、この感覚が薄れており、自分達のために地域活動を行う意識が低くなっている。</p>	<p>○男女共同参画社会の推進について、「認め合い助け合える社会づくり」を目指して、プラン策定時に公募委員、県の講習修了者などが集まって、さんか・クラブを設立している。</p> <p>○家の周りで挨拶を行うことなど、隣近所の関係づくりを行いたい。カフェを公民館の一室で営業することができ、好きな時に参加してもらおうと引きこもり対策、地域の交流の充実につながる。</p> <p>○自主防災組織をつくりたい。</p> <p>○活動の魅力を高めることと、きっかけづくりを充実させ、リーダーになることができる人を育てる。</p>	<p>○しっかりと事業を計画している団体には、市の補助が欲しい。支援期間については、活動を継続するためには2年では短い。募集してプレゼンテーションで補助先を決めるようにしてほしい。</p> <p>○市外から転入した方も、この市民で良かったと感じるまちづくりが必要である。地域にかかわり、まちに愛着を持つような活動を少しでも支援してほしい。</p>

